

社会福祉法人ふじみ会
幼保連携型 認定こども園 富士見保育所

平成 29 年度 事業報告書

社会福祉法人ふじみ会
幼保連携型 認定こども園 富士見 保育所

平成 29 年度 事業報告書 目次

- 1、保育・教育理念・・・・・・・・・・2
- 2、基本方針・・・・・・・・・・2
- 3、保育・教育目標・・・・・・・・・・2
- 4、法人運営・・・・・・・・・・2
- 5、施設の運営・・・・・・・・・・3
- 6、中・長期計画・・・・・・・・・・3
- 7、全体的な計画・・・・・・・・・・4
- 8、保護者および地域との連携・4
- 9、会議・研修計画・・・・・・・・・・5
- 10、安全対策・・・・・・・・・・5
- 11、印刷物の発行計画・・・・・・・・・・5

平成 29 年度 事業 報告 書

社会福祉法人ふじみ会
幼保連携型認定こども園 富士見保育所

＜社会福祉法人ふじみ会は第二種社会福祉事業 幼保連携型認定こども園 を経営する＞

1、保 育 理 念

子どもたちがいきいきとした表情で安心して過ごせる集団生活の場を目指す。

(児童福祉理念に基づき、保育環境を整備し、質の高い保育実践と共に利用者支援に努める。)

2、基 本 方 針(保 育 方 針)

家庭的な雰囲気の中で一人一人の個性を大切に、「思いやりとやさしさを育てる」

「豊かな人間性を育て、生きる力の基礎を培う」ことを目的とし、児童の最善の利益を保障すると共に、保護者の需要に応えた保育所運営であり、地域の子育て支援の拠点施設としての役割を果たす。

※養護と教育の一体的な保育を進め、豊かな人間性が育つ、最もふさわしい生活の場を実現する。

※保育の専門的知識と技術及び判断を以って、子どもの健康・安全・情緒の安定を図り、自主性と生活力の発達を促す保育実践に努める。

※子育て支援の視点から、必要性に応じて保育に関する相談・助言に努め、社会的役割を果たす。

3、保 育 目 標

- 1、心身共に健康な子ども
- 2、創造力、思考力共に豊かな子ども
- 3、自主独立心強く、思いやりがあり、誰とでも仲良くできる子ども
- 4、自分の持っている無限の可能性を伸ばせる子ども
- 5、競争の原理に立たず、互いに愛し合い、平和をつくり出すことの大切さを身につけた子ども

4、法 人 運 営

1、役 員 構 成

役職名	氏 名	職務代理者	役職名	氏 名	職務代理者
理事長	藤田 光子		理 事	若林 一哉	
理 事	藤田 俊彦	○	理 事	鈴木 鉦一郎	
理 事	片岡 通夫	○	監 事	五十嵐 嘉代子	
理 事	福士 悦子	○	監 事	油川 安孝	

2、理 事 会

理事会は定例で2回、臨時で2回、下記の通り開催した。

平成 29 年 5 月 19 日	監事監査 11:30～ 決算承認 理事会 13:30～
平成 29 年 6 月 10 日	理事長選任の件、業務執行理事選任の件
平成 29 年 10 月 20 日	処遇改善に伴う対応の件、補正予算の件
平成 30 年 3 月 30 日	平成 29 年度最終予算の件、平成 30 年度事業計画の件、平成 30 年度当初予算の件、法人監査報告の件、保護者アンケート結果の件、職員人事と就業規則の件、理事会、評議員会の件

3、監 事 の 監 査

平成 29 年 5 月 19 日	監事監査の実施
------------------	---------

5、施 設 の 運 営

＜施設の定員 100 名＞ ＜職 員 22 名・非常勤 0名＞

＜H29 年度の入園状況＞

4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月
95 名	97 名	99 名	100 名	100 名	99 名	100 名	101 名	102 名	101 名	102 名	103 名

6、中・長期計画（H29 年度の取り組み）

地域交流保育の実施(町内活動)	ふじみねふたでの交流・主任児童委員活動(所長)
教育委員会・小学校との連携	城西小教員との情報交換・年長児と一年生交流
入所児への休日、祝日保育の自主対応	なし
一時保育希望者への自主対応	なし
保育料の収納事務（可能な範囲で行う）	滞納に関する収納事務 0 件
養成校の実習	弘前大学保健学科看護学(小児看護実習 8 名) 弘前厚生学院（保育実習 1 名）
体験学習・ボランティア	7/12 げんき応援ふれあいデー(一人暮らしの高齢者 19 名参加) 1/10 冬休み保育士体験教室(弘二中 12 名参加)
見学者・修了児への対応	入所検討の見学者 18 世帯・その他随時対応

7、全体的な計画

全体的な計画(別紙)を主軸として、養護・教育・食育・健康支援・環境、衛生管理・安全対策、事故防止などへの取り組みが発達段階を踏まえて実施する。

- (1) 全体的な計画を基に、年間・月間指導計画、週案、日案等を策定し、質の高い保育実践を目指す。
- (2) 養成校と連携を取りながら保育教諭や看護師を目指す学生の受け入れを行うとともに、地域の小中高生のために職業体験の場を提供し、次世代育成支援をしていく。受け入れにあたっては、目的が異なるため、全職員が受け入れの意義や方針を理解し、その都度配慮し実施していく。
- (3) 役割分担及び責任体制は、職員職務分担表(別紙)のとおりとするが、常に協調と連携を密にし、円滑な連携体制で保育計画を実施する。
- (4) 職員は毎年3月中旬に実施している、新年度全体会議において、当年度の評価反省と向き合い、次年度の新たな方向性や計画について理解し、全体的な計画の実践に向ける。

8、保護者および地域との連携

- (1) ふじみサークルでのクラス懇談やアンケート調査を実施し、保護者のニーズの把握に努める。

※ふじみサークルの実施状況

実施日	内 容	参加世帯数
平成29年 5月13日(土)	給食試食・4～5月の保育ってどんな感じ・クラス懇談	31
平成29年 8月26日(土)	さくら組の保護者対象サークル・クラス懇談	10
平成29年 9月9日(土)	ひまわり・ちゅうりっぷ組サークル・クラス懇談	18
平成29年 11月18日(土)	<感謝祭>たんぼぼ・つぼみ組サークル	24
平成29年 12月16日(土)	<クリスマス>すみれ・さくら組サークル、一緒にクリスマスランチ	35
平成30年 2月 3日(土)	ランタン作り・一緒にあそぼう・クラス懇談	38
平成30年 3月 3日(土)	<ひなまつり>ひまわり・ちゅうりっぷ組サークル、一緒にひなまつりランチ	42

- (2) 就学を迎える児童と保護者へも心のケアができるよう、相互の交流の場を設けていく。

※就学时児童説明会の実施状況

実施日	内 容	参加世帯数
平成29年10月14日(土)	年長児の就学に向けて、個人面談を行う	12世帯(18名中)

- (3) 保育相談の充実を図り、様々な保育ニーズに対応するとともに、地域住民に子育て支援の場を提供する。
- (4) 子ども会や児童委員と連携を図り、遊びの提供や子育て相談を行い、保育園が身近な存在となるよう努める。

※紺屋町子ども会ラジオ体操の実施状況

実施日	内 容	参加人数
平成29年7月25日～28日	富士見保育所にて町内のラジオ体操を実施	子ども32名 大人10名

9、会議・研修計画

会議・研修名	基本月日・時間	内 容	対 象	担 当	記 録
週カンファレンス	毎週 月曜日 13:20～	① 報告・連絡事項 ② PDCA（計画・実行・評価・実践） ③ ケース	クラス別 保育教諭	主幹 保育教諭	業務日誌
◆ 全体会議	月 1～2 13:20～	① 月間保育計画 ② 環境設定について ③ 保育教諭の動き	全職員	ローテーション	会議録
◆ クラス会議	クラスだより 発行月 13:20～	① 保育教諭の配慮 ② クラスの保育計画	各クラス 保育教諭	クラス担当	会議録
◆ 給食会議	毎 月 13:20～	① 給食業務に関わる改善点を話し合う。 ② 食育計画	栄養士 調理師	主幹 保育教諭	給食会議録
◆ 園内研修 園内研修計画 参照	毎 月 19:00～	① 個別の成長をテーマに話し合う。 ② 保育・教育の質の評価・点検(自己、 他者)を全体で行う内部研修。	全職員	指定の担当者 所 長 副所長	園内研修録
外部研修	外部研修計画書 に基づいて派遣	① 職員の質の向上 ② 専門性の研鑽	全職員	所 長 副所長	研修報告書

※外部研修については研修計画書(別紙)に基づき、職員の研修派遣を行うものとする

10、安全対策

- 1、防災設備の定期点検は外部委託により実施する。また、日常の安全点検は自主点検表に従って実施する。
- 2、火災・震災・不審者に対応できるよう消防署や警察、警備保障とも協力して訓練を実施する。児童の安全配慮を第一とし、実施後の見直しと発展を全職員で取り組む。
- 3、衛生管理については、担当者を中心に研修会に参加し、より一層の徹底を図るよう努める。
- 4、個人情報保護、情報漏えい等の遵守(守秘義務)
- 5、リスクマネジメント(危機管理)・・・事故報告書、ヒアリハット記録、SIDS防止対策(呼吸確認記録)

11、印刷物の発行計画

※ おたより毎月 1 日発行

※ クラスだより毎月 5 日発行

(毎回身長、体重、その時期に様子を記載、6 月と 1 月は歯科検診の結果等も記載する)

※ 献立表・食育だより・離乳食献立表 毎月末発行